



▲苗木の植樹

森林を学び、未来の森林を育む

5月16日 森の学校 in 雄勝小学校

雄勝小学校5年生の児童28人が「2025森の学校in雄勝小学校(秋田県水と緑の森づくり税事業を活用)」に参加し、森づくりと林業について理解を深め、自然と向き合いながら貴重な時間を過ごしました。

児童たちは旧東山森林公園内に60本の苗木(ヤマザクラ、ヤマモミジ、イタヤカエデ)を植樹したほか、スギの伐採見学や木製ペン立てなどの木工作業体験、シイタケの種菌を原木に打ち込む駒うちにも挑戦。参加した児童は「植樹は大変だったけれど、木が大きくなってくれたらうれしい」と話しました。

WEB限定
広報ゆざわ
Connect別冊
もあコネクト
「more Connect」

市ホームページと「マチイロ」で広報ゆざわConnect別冊「more Connect(もあコネクト)」を公開していますので、ぜひご覧ください。



市ホームページ▶



▲スギの伐採見学



▲シイタケの駒うち体験

ゆざわのほっとな話題 NEWS **HOT LINE** ニュースほっとライン



折れた桜の枝が生まれ変わる

5月17日 クラフト教室

道の駅うご「はぬ端縫いの郷」で「クラフト教室～折れた桜の枝でえんぴつづくり～」が行われました。

このイベントは、横堀地域づくり協議会とイーヴェうご協議会との交流事業として開催されたもの。今回使用した桜の枝は、役内川河川公園周辺の桜並木で、雄勝中学校生徒が行った「枝ひろい」で集められた枝です。参加者は作業に苦戦しつつも、完成した作品の出来栄に満足した様子で、会場は賑わいを見せていました。

※「枝ひろい」の様子は広報ゆざわ5月号で紹介しています。



住民と行政の架け橋として尽力

4月11日 退任の行政相談委員に感謝状を贈呈

市役所本庁舎3階市長室において、行政相談委員を退任された高橋喜一郎さんと佐々木正己さんへ、秋田行政監視行政相談センター細矢和弘所長より、総務大臣からの感謝状が贈呈されました。

お二人は、住民と行政のパイプ役として、12年間にわたり行政運営の改善にご尽力されており、今回その功績が認められたものです。

後任として、4月1日付けで高橋睦子さん、沼倉誠さんが委嘱されました。

※写真左から佐藤市長、佐々木さん、高橋さん、細谷所長



地域の宝 子どもたちの健康を願って

5月1日 皆瀬ダムの鯉のぼり

ゴールデンウィークの期間中、皆瀬ダム上に約50匹の鯉のぼりが取り付けられ、大空を元気に泳いでいました。

この鯉のぼりは、地域の宝である子どもたちの成長と健康を願い、毎年、皆瀬ダム湖がある皿小屋地区の有志のかたがたにより設置されているもの。今年も、色とりどりの鯉のぼりが地域住民やドライバーの目を楽しませました。



海外での経験を今後の糧に

5月2日 JICA海外協力隊市長表敬訪問

青年海外協力隊として、アフリカのモザンビークでボランティア活動を行っていた稲川地域出身の小野寺有美さん(写真左)が、2年間の活動を終え帰国、佐藤市長を表敬訪問しました。

小野寺さんは、主に乳幼児健診での栄養改善や、保健衛生活動に関する啓発活動に従事。「活動で得た経験や力を活かして、地域貢献や地域づくりに携わっていききたい」と今後の抱負を話しました。



じえんこをまいて福を呼ぶ

5月5日 じえんこまき

弁天地区の森嶽神社にて「じえんこまき」が行われました。「じえんこまき」とは硬貨を神社の壁に投げることで、厄が払われ、福が返ってくるとされる風習で、家内安全や無病息災を願う伝統文化です。

氏子総代を務めた渡部太郎兵衛さんは「今年も子どもたちに「まき役」を体験してもらい、地元の歴史に触れる良い機会となった。今後も、歴史ある伝統文化を継続していきたい」と話していました。



地域で楽しむ音楽の調べ

5月11日 出前コンサート in 皆瀬

市役所皆瀬庁舎の交流ロビーで、「音楽のまち「ゆざわ」出前コンサート in 皆瀬」が行われました。

出前コンサートは、「本庁舎まで行くのが難しい」という地域の方の声にこたえ、初めて開催されたもの。音楽のまちゆざわ推進協議会のボランティアスタッフや皆瀬中学校吹奏楽部によるマリンバ3重奏、ユーフォー仮面のパフォーマンスなどで会場が盛り上がりました。



旬の味と笑顔が集う

5月16日 かあちゃん笑店

小野地区の有志の女性たちによって、毎年4月から12月までの第3金曜日に小野地区センターを会場に開催されている「かあちゃん笑店」では、旬の野菜や山菜、手作りの手芸品などが販売されています。

会場内に設けられている「お茶っこスペース」では、スタッフが持ち寄った手作りの料理やデザートが振る舞われ、来場客は、購入した食材の調理法を教え合うなど買い物後の会話を楽しんでいます。



甘い香り漂う 藤棚に春の訪れ

4月27日～5月25日 藤まつり

4月27日から5月25日までの期間、岩崎地区の千年公園で「藤まつり」が開催されました。千年公園は、古くから藤の名所として親しまれ、現在は3カ所に藤棚が設置されています。

春先の日照不足などの影響で例年に比べ開花が遅れたものの、藤棚からは薄紫色の美しい花が垂れ下がり、園内には甘く優しい香りが漂っていました。



観光PRに期待

5月7日 第57代小町娘委嘱状交付式

第57代となる小町娘の委嘱状交付式が横堀交流センターで行われました。

式では、湯沢市雄勝観光協会の高橋修一会長(写真右)が一人ひとりに委嘱状を手渡し、「小町まつりに向け練習に励み、その後も市の観光振興のため頑張ってください」と激励。委嘱された7人は「湯沢の良いところをたくさんアピールできるように、一生懸命頑張りたい」とそれぞれ抱負を述べていました。



コスモスの花でおもてなしを

5月9日 コスモス種まき

高松地区センターで、高松コスモスライン運動推進協議会の会員らがコスモスの種まきを行いました。

この活動は、地域の活性化や緑化意識の高揚を図る「コスモスライン運動」の一環で、今年で39年目。育苗したコスモスは今月上旬に県道51号線沿いの「コスモスライン」や地域の集落沿道に植え付けられ、9月初めに色とりどりの約6万本の花を咲かせ、訪れる観光客を華やかにもてなします。